

安全の為のご注意

Take Off テイクオフ

 **REMACOM**  
Food Service Equipment & Supplies

## 取扱説明書

# ポップコーンマシーン

型番 RPM-V8 / RPM-V8H / RPM-V16H



この度は、本製品をご購入いただきましてありがとうございます。  
本製品を適切にご使用頂く為、ご使用の前に、この『取扱説明書』を  
よくお読みの上、正しくお使いください。また、この『取扱説明書』を  
いつでもすぐ取り出せる所に大切に保管しておいてください。

# もくじ

安全の為のご注意について……………1

本体構造について……………2~3

ご使用方法について……………4

お手入れとメンテナンスについて……………5

故障かなと思ったら……………6

- ご使用前にこの取扱説明書をお読み下さい。
- ポップコーンマシンの外観については製品をご覧下さい。
- ポップコーンマシンの改良により、本製品はこの取扱説明書と完全に一致しない場合があります。

# 安全の為のご注意について



## 注意 漏電・感電・火災防止のために

- ① ポップコーンマシンは、仕様に合った単独コンセントに挿してください。他の器具と分岐してのご利用（タコ足配線等）の場合、異常に発熱をして発火の原因となる場合がございますのでおやめください。
- ② 本体及びプラグ、コードは絶対に分解、修理、改造をしないでください。発火、感電の原因となる場合がございますのでおやめください。
- ③ 感電事故防止の為、アースを確実に取り付けてください。
- ④ ご使用前に、電源プラグの刃の間にほこりがたまっていないか確認してください。ほこりがたまったまま使用を続けた場合、火災の原因となる場合がございますので、御注意ください。
- ⑤ ポップコーンマシンを水に浸けたり、水をかけないでください。また、濡れた手で触れたり、操作を行なわないでください。漏電や感電の原因となります。特に釜部分は危険ですのでご注意ください。
- ⑥ 電源プラグを抜く時は、配線コードを持って引き抜かないでください。発火、断線、故障の原因となりますのでおやめください。
- ⑦ 設置環境には十分注意し、特に水のかかりやすい所、熱源付近、高温多湿な場所でのご使用は避けてください。

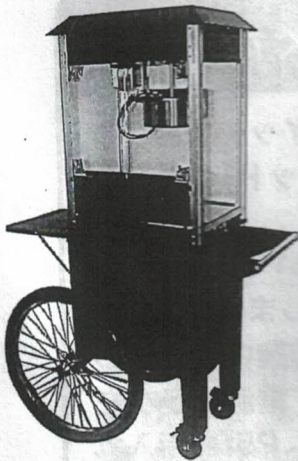
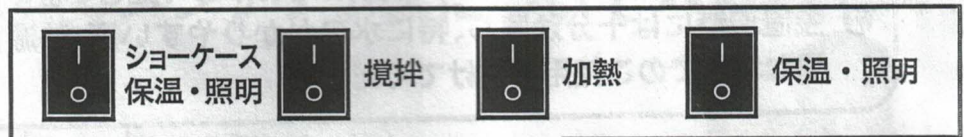
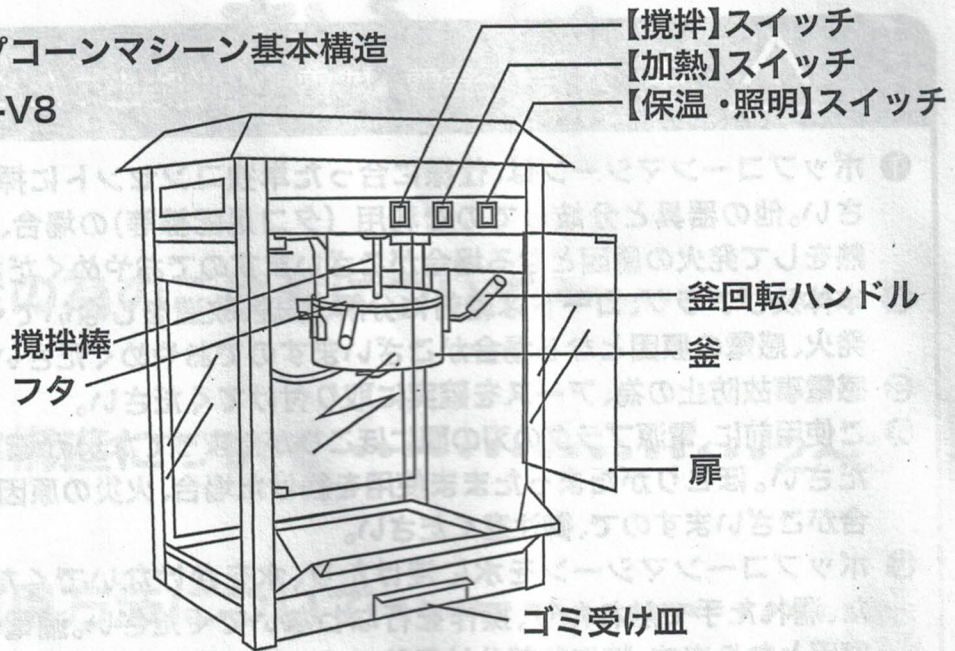


## 警告 製品の故障や怪我を防ぐために

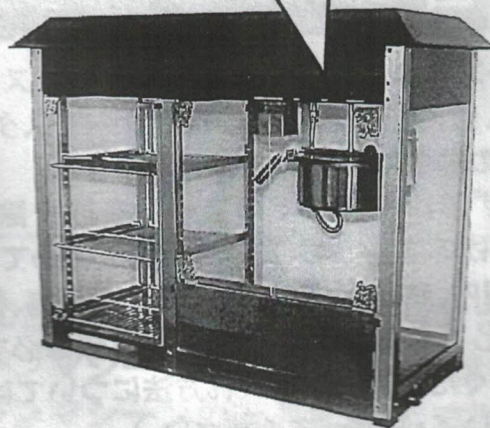
- ① ポップコーンマシンを作らない時は、必ず【加熱】スイッチをお切りください。空焚きは、釜内部の温度調整器（サーモスタット）の故障の原因となります。この場合は保証対象外となります。
- ② ご使用後は都度必ず釜からすべてのコーンを取り除いてください。残ったコーンは釜焦げの原因となり、釜の寿命を縮めてしまいます。
- ③ 動作中及び直後は庫内、釜、フタなどが高温になる為、作業中や清掃の時には、火傷に注意してください。また、清掃の際は必ず電源プラグを抜いてから行なってください。（お手入れ方法については、P5『お手入れとメンテナンスについて』に従ってください。）
- ④ ポップコーンマシンは水平で安定した場所に設置し、本体の上には何も載せないでください。

# 本体構造について

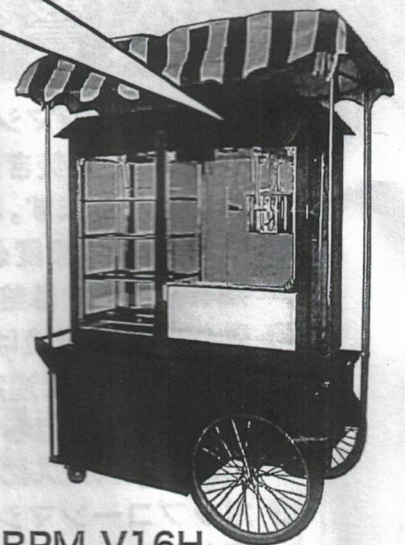
ポップコーンマシン基本構造  
RPM-V8



RPM-V8  
カート付き



RPM-V8H  
冷蔵ショーケース付き



RPM-V16H  
冷蔵ショーケース付き  
カート付き

# ご使用方法について

## 【普通のポップコーンの場合】

- ①【加熱】スイッチを入れ、最初に立ち上がりの為、5～7分程度釜を温めます。釜はとても熱くなりますので火傷に注意してください。
- ②フタを上げ(天井マグネット固定)、オイル→コーン豆→調味料(塩、バターフレーバー等)の順に入れ、フタを閉めて【攪拌】スイッチを入れてください。
- ③数分間経つとコーンが弾ける音がして、フタからこぼれ出てきます。音が無くなれば完成です。
- ④【加熱】スイッチと【攪拌】スイッチを切ってください。
- ⑤釜回転ハンドルを持ち、釜をぶら下げて残りのコーンを全て取り出してください。
- ⑥続けて作る場合は、【加熱】スイッチを入れて、②の手順から繰り返してください。時間が経って釜が冷えた場合は①の手順から繰り返してください。

## 【キャラメルポップコーンの場合】

- ①【加熱】スイッチを入れ、最初に立ち上がりの為、5～7分程度釜を温めます。釜はとても熱くなりますので火傷に注意してください。
- ②フタを上げ(天井マグネット固定)、オイル→コーン豆→キャラメルシュガーの順に入れ、フタを閉めて【攪拌】スイッチを入れてください。
- ③数分間経つとコーンが弾ける音がして、フタからこぼれ出てきます。音が無くなれば完成です。
- ④【加熱】スイッチと【攪拌】スイッチを切ってください。
- ⑤釜回転ハンドルを持ち、釜をぶら下げて残りのコーンを全て取り出してください。
- ⑥続けて作る場合は、【加熱】スイッチを入れて、②の手順から繰り返してください。時間が経って釜が冷えた場合は①の手順から繰り返してください。

## 【ご使用の際の目安】

型番	RPM-V8	RPM-V8H	RPM-V16H
釜内容量 (オンス)	8	8	16
1回のコーン豆の量	150~200g	150~200g	300~400g
油	50ml	50ml	100ml
調味料 (バターフレーバー キャラメルシュガー等)	75~100g	75~100g	150~200g

※調味料はあくまで目安としてご参照ください。

※キャラメルポップコーンを作った際には、ご使用後に必ず鍋の内側・攪拌部位を掃除してください。キャラメルの飴が固まってモーターを破損させたり、鍋を傷つけたりする場合があります。この場合は保証対象外となります。



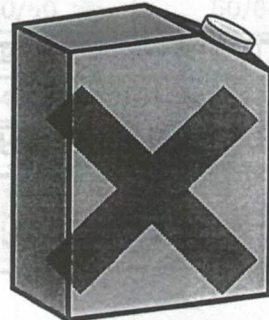
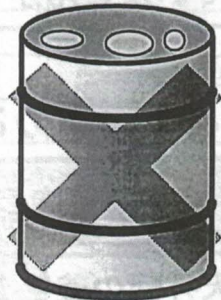
## 警告 製品の故障や怪我を防ぐために

- ① 出来上がったポップコーンを保温する為に【保温・照明】をご使用ください。
- ② 保温電球及び天井プラグがゆるんでないかご使用前にご確認ください。
- ③ 保温によりキャラメルがベタ付く場合がありますのでご注意ください。
- ④ 複数回連続製造の場合は都度の釜を温めは必要ありません。
- ⑤ ポップコーンを作らない時は、必ず【加熱】スイッチをお切りください。空焚きは、釜内部の温度調整器(サーモスタット)の故障の原因となります。
- ⑥ ご使用後は都度必ず釜からすべてのコーンを取り出してください。残ったコーンは釜焦げの原因となります。
- ⑦ ポップコーンマシンは水平で安定した場所に設置し、本体の上には何も載せないでください。

# お手入れとメンテナンスについて

**1** ポップコーンマシンをお手入れするときには、全てのスイッチを切り、電源コードを抜いてください。外側は、中性洗剤で湿らせた布で注意しながら拭いてください。その後きれいな布で拭き取ってください。釜及び庫内は、冷めてからクッキングペーパーなどで油分、汚れ等を拭き取ってください。

**2** プラスチック部品や塗装に損傷を与える恐れがありますので、お手入れのために、酸性のもの、化学薬品、シンナー、ガソリンのようなものは決して使わないでください。



酸性、化学薬品、シンナー、ガソリン等

## 【キャラメルポップコーンを作った後の釜の清掃方法】

- ① 火傷防止のため、軍手をつけて作業を行ってください。
- ② 攪拌スイッチと保温・照明スイッチは切ってください。
- ③ 【加熱】スイッチを入れ、釜が熱い状態で、水を釜の中に入れて、煮立ててください。釜の中のキャラメルシュガーや油が溶け出して、掃除がしやすくなります。入れる水の量は8オンスの釜の場合は100～150ccくらい、16オンスの場合は150～250ccくらいを目安にしてください。多量に水を入れた場合、吹きこぼれに注意してください。  
※釜に繋がっているコードや、釜の全体には決して水をかけないでください。
- ④ 故障の原因となります。
- ⑤ 煮立ったら加熱スイッチを切ってください。  
庫内に小さめのバケツを置いた後に、釜回転ハンドルを持ち、釜をぶら下げて、釜の中の水をバケツに捨て、釜の中に溶け出たキャラメルシュガーや汚れをきれいなふきんやペーパータオル等で拭き取ってください。

※釜の中の水をバケツに捨てる際には、庫内床にこぼさないようにご注意ください。床下のヒーターに水がかかると漏電や故障の原因となります。作業時には、バケツの下にシート等を敷いてください。水のこぼれによる故障の場合は、保証対象外扱いとなります。

# 故障かなと思ったら

ポップコーンマシーンが動作しないときは次のことをご確認ください。

こんなときは	ご確認ください
全く動かない	電源プラグは確実にコンセントに差し込まれていますか？
	電源または建物のヒューズやブレーカーが切れていませんか？

釜が十分に熱くならないときは次のことをご確認ください。

こんなときは	ご確認ください
釜が熱く ならない	庫内天井部の釜プラグはしっかり接続されていますか？
	釜を空焚きしていませんか？ 釜の空焚きは故障の原因となりますのでおやめください。
	一度に調理する量は適量ですか？ 調理する量が多すぎると釜が十分に温まらず、コーン豆が十分弾けません。
	外気温は低すぎませんか？ 外気温が低いと釜の熱を奪われ十分に温まりません。

上記のことをご確認後、ポップコーンマシーンが正しく機能しない場合は、できるだけ早くレマコム株式会社へご連絡ください。



## 保証内容書

このたびはレマコムの商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
お買い上げいただいた商品につきまして、本保証内容により保証させていただきます。

保証書について

本保証には、商品本体のみが対象です。例：FRS1234567、FRS1234567-078、RRS-1234567等  
保証内容の詳細につきましては、保証書をお読みください。  
保証書の発行は、ご注文日より行われます。

### 仕様

型番	RPM-V8	RPM-V8H	RPM-V16H
釜内容量 (オンス)	8	8	16
定格電圧 (V)	単相 100	単相 100	単相 200
定格周波数 (Hz)	50/60	50/60	50/60
定格消費電力 (kW) 全体/保温・照明	1.3/0.36	1.9/0.6	3.5/1.2
外形寸法 (幅×奥行×高さ) (mm)	500×420×720	900×420×740	1290×600×1100
質量 (kg)	20.5	41	96

### 仕様

品名	RPM-V8 カート付	RPM-V16H カート付
釜内容量 (オンス)	8	16
定格電圧 (V)	単相 100	単相 200
定格周波数 (Hz)	50/60	50/60
定格消費電力 (kW) 全体/保温・照明	1.3/0.36	3.5/1.2
外形寸法 (幅×奥行×高さ) (mm)	1000×615×1520	1850×800×2100
質量 (kg) カート部分/本体+カート	20.5/41	53.2/149.2

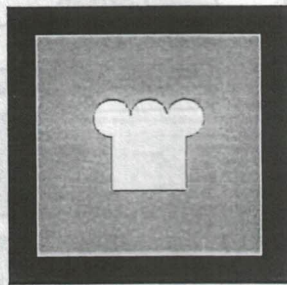
## 保証について

当製品の保証期間は納品後、1年間です。保証内容については、弊社ホームページ (<http://www.remacom.com>)にてご確認ください。  
ご使用方法についてご不明な点がございましたら、レマコム株式会社へお問い合わせください。

# 故障かなと思ったら

ポップコーンマシンが動作しないときは次のことを確認ください。

電源が通っていますか？	
1. 電源スイッチがONになっていますか？	2. 電源コードがコンセントにしっかりと挿れられていますか？
ポップコーンが詰まっていますか？	
3. マシンの上部の蓋を開け、詰まりを確認してください。詰まりがあれば取り除いてください。	
温度設定が適切ですか？	
4. マシンの温度設定を確認してください。適切な温度設定がなされていることを確認してください。	
水のレベルは適切ですか？	
5. マシンの水のレベルを確認してください。適切なレベルの水が注がれていることを確認してください。	
油のレベルは適切ですか？	
6. マシンの油のレベルを確認してください。適切なレベルの油が注がれていることを確認してください。	
その他	
7. マシンの取扱説明書を読み、正しい使用方法を確認してください。	
8. 上記のすべての確認を行った後も動作しない場合は、弊社に連絡してください。	



**REMCOM**  
Food Service Equipment & Supplies

## レマコム株式会社

〒411-0822 静岡県三島市松本 68-1 TEL:055-984-3600 FAX:055-984-3601  
URL: <http://www.remacom.com>

# 保証内容書

このたびはレマコムの商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。  
お買い上げいただきました製品につきまして、本保証内容により保証させていただきます。

## 1. 保証番号について

各製品には、製品独自の保証番号がついています。例：FRS1234567、12HB7345-678、RRS-1001234567等  
製品発送のお知らせと共に保証番号をあわせてお知らせいたしております。  
機械本体の製造番号が保証番号となっておりますので、製品の銘板でご確認いただくこともできます。

## 2. 保証期間について（納品日より保証期間1年間）

保証開始日、保証終了日を知るには、保証番号を当社へお伝えください。保証期間をお伝えいたします。

## 3. 保証の内容

正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、製品の無料修理または交換をさせていただきます。  
修理の場合は、製品を弊社への持ち込み修理といたします。  
修理、交換のいずれの保証方法をとるかについては、弊社の判断とします。

## 4. 保証の範囲

保証は機器本体を対象とします。付属部品やパッキンなどの消耗品や機械本体以外に生じた損害及び  
機器の搬入・取り付け・取り外し・搬出・梱包にかかる費用等は、保証の対象ではありません。

## 5. つぎのような場合には、保証期間内でも有料修理になります。

- ① ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ② 納品後の取付場所の移動、落下などによる故障及び損傷。
- ③ 火災、塩害、地震、風水害、雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性などの有毒ガス、ほこり、異常気象、異常電圧、異常電磁波、ねずみ、鳥、くも、ゴキブリ、昆虫類等の侵入及びその他の天災、地変による故障及び損傷。
- ④ 水道管の錆などの異物の流入、給・配水管の詰まりにより生じた故障及び損傷。
- ⑤ 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障及び損傷。
- ⑥ 音、振動、塗装の退色、メッキの軽微な傷、錆などの設計仕様の範囲内の感覚的な減少の場合。
- ⑦ 工事説明書または取扱説明書などに指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生じた不具合、故障及び損傷。
- ⑧ 店舗閉鎖後の製品の長期運転休止・保管及び所有者の変更の後に生じた故障及び損傷。
- ⑨ 保証番号のご提示がない場合。
- ⑩ 保証は日本国内でのみ有効です。
- ⑪ 製品をお買い上げいただいた場合の御購入金額を、保証修理費が上まわったり、いちじるしく高額であると弊社が判断した場合は、御購入金額を返金する場合があります。その場合の御購入いただいた製品の廃棄もしくは移動についての諸費用は弊社の保証外ですので、その費用についての責任は負えません。
- ⑫ 当社の認める代理店及び販売店以外からの御購入の場合は、その保証外とする。

## 6. お客様へ

- ① 無料修理やアフターサービスなどについてご不明な場合は、弊社までお問い合わせください。
- ② 保証番号の再発行はしませんので、大切に保管してください。紛失してしまった場合は、銘板に書かれている製造番号が保証番号ですので、ご自身で再確認して、大切に保管してください。
- ③ 製品の故障及び環境不良により生じた食品材料の損害、または製品の故障による修理待ち間製品が使用できなかった事により生じた営業利益保証及び慰謝料請求は保証の対象ではありません。

住 所：静岡県三島市松本68-1

会社名：レマコム株式会社

TEL：055-984-3600

FAX：055-984-3601

E-mail: info@remacom.com

URL: <http://www.remacom.com>

ご購入いただき誠にありがとうございます。

ご購入後、ご使用頂く際、ご使用前に、この「取扱説明書」を

よくお読みの上、正しくお取り扱いください。この「取扱説明書」が、

いつでもすぐお読み頂けるように大切に保管してください。

